

1.2 石巻市総合運動公園の概要

平成6年策定の基本計画に基づき、第1次工事(第1工区)として石巻市民球場や石巻フットボール場が平成11年度に整備され、供用を開始しました。その後、平成23年3月に発生した東日本大震災で被害を受けましたが、復旧工事を経て、平成30年3月には総合運動公園の南エリアに人工芝のフットボール場2面と天然芝の多目的グラウンド、人工芝のテニスコート3面が整備され、平成31年4月には、大型遊具が設置された子ども広場が完成しました。

また、付帯設備として、平成30年12月には、本格的なトレーニングができる石巻トレーニングセンターが完成し、市民の健康増進はもとより、2020東京オリンピック事前合宿にも使用されております。

なお、令和元年6月30日から、セイホク株式会社とネーミングライツパートナー協定を締結し、石巻市総合運動公園の施設愛称は「セイホクパーク石巻」となりました。

(期間：令和4年7月～令和7年6月)

周辺には、石巻専修大学や宮城県石巻商業高等学校があり、令和2年度に、マルホンまきあーとテラス(石巻市複合文化施設)も完成し、スポーツ・文化活動の拠点となっています。

また、石巻広域圏の活性化と産業の振興を目的として整備された石巻トゥモロービジネスタウンや、低層戸建住宅を中心とした居住環境が整備され、良好な住宅形成がされています。



図 1.1 石巻市総合運動公園周辺図

主要道路についても、三陸沿岸道路や国道398号石巻北部バイパスが整備され、周辺には「石巻女川IC」や「石巻河南IC」があることから、地域住民の利便性のみならず、仙台都市圏や気仙沼・本吉圏から1時間程度でアクセスできるため、県内からの利用にも適しています。



図 1.2 石巻市総合運動公園へのアクセス分布図

出典：国土地理院（単色地図加工）